

つながる、つながる、なにがつながる？

< るあんのフランスパリ日記 その③ >

※「るあん」…音風景をキーワードに文化活動を行う「ビックママ・プロジェクト」から派生した音楽隊。2013年、JAA国際アコーディオンコンクール・パフォーマンスアンサンブル部門にて、桑山哲也賞受賞。翌年、横浜赤レンガ倉庫にて、アコーディオニストcoba主催の「Bellows Lovers Night」に出演。一音一会を大切に、人とのつながりの中で、日々活動している。

<https://bigmamaluann.wixsite.com/main>



ボンジュール！私たちは音楽隊「るあん」といいます。
メンバーは、アコーディオニストのエレガンス・カオルンに、ヴァイオリンのヒラリン、それから食いしん坊のスガちゃんに（マンドリン、フルート、歌）、カーリーなポニヨポニヨ・ヘアがトレードマークの私、セッキーです。

（※前回の内容を知りたい方は、下記のHPを開いてくださいね。）
<http://www.kanto-acco.jp> (実行委員会ニュース 2020.1.10.「パリ日記」6~9ページ)

2019年9月26日。木曜日。

さて、パリ5日目。本日のるあんは、パリ周遊です。Navigo (①ナヴィゴ) と Paris Museum Pass (②パリ・ミュージアムパス) を上手に組み合わせて満喫しようと、早起きして、おめかし。

【※バス・ナヴィゴ。私たちは週間バス (Navigo Semaine) をフランス到着後、シャルル・ド・ゴール空港内で購入。これさえあれば、パリとその近郊のゾーン5までなら、メトロ、RER (郊外電車)、バスなど、あれこれ乘れます。27.8ユーロ。
※②パリ・ミュージアムパス。オンライン購入可。50以上の美術館・観光スポットに入場可能なパス。私たちは、1か所目の入場から連続して96時間見学できる4日券を購入。行列に並ばなくても、OK。】

私たちが螺旋階段をくるくる下って、カクタスホテルの小さなフロントまで行くと、すっかり顔なじみになったスタッフさんたちが、笑顔で私たちを見送ってくれました。

「ボンジュール。いってらっしゃい。良い1日を！」

「ボンジュール。ありがとうございます！」



※写真右。

カクタスホテルのスタッフと、カオルン。
ロビーにて、ミニコンサートの後。

※写真左は、バス・ナヴィゴと、パリ・ミュージアムパス。

そして私たちの、ぶらぶら・パリ歩き。

まずはカクタスホテルの最寄り駅 Volontaires (ヴォロンテール) からメトロ⑪に乗って、3駅先の Monparnasse Bienvenue (モンパルナス ビヤンヴニュ) へ。そこからメトロ④に乗り換えて、St-Germain Des Pres (サン・ジエルマン・デ・プレ) で下車。

この辺りは、昨日るあんの演奏隊が練り歩き演奏をした界隈ですけど、本日は私たち、手ぶらで歩きましたよ。まずは街中で、パリっ子に人気のイタリア人のお店でパニーニを買うと、Jurdin du Luxembourg (リュクサンブル公園) でランチ。(パニーニ、すごく美味しかった) それから絵のような美しさの、幾何学的なフランス式庭園をじゅうぶん堪能すると、私たちはまた歩き始めました。

Notre-dame (ノートルダム) と Ste-Chapelle (サント・シャペル) がそびえ立つ、シテ島のセーヌ川沿いのブキニスト (古本市) まで歩いて行って、ぶらぶら。レアな雑誌や美しい装丁の「三銃士」(アレクサンドル・デュマの小説) や中性ヨーロッパのネウマ譜を見たり……。ブキニストの隣で絵を並べて売っている絵かきさんからは、スガちゃんが絵を買ったり(その絵には子犬が描かれていて、スガちゃんの家の愛犬だった故ドンちゃんとそっくりだった)……。はたまた、Pont Neuf (ポンヌフ) を渡って Musee du Louvre (ルーヴル美術館) までてくてく歩いていくと、中には入らずに、Arc de Triomphe de Carrousel (カルーゼル凱旋門) を背に、緑豊かな都心のオアシス、フランス式庭園の、Jardin des Tuileries (チュイリ-公園) でお散歩。……そしてその一角には、Musee de l'Orangerie (オランジュリー美術館) があって、8枚からなるモネの連作「睡蓮」を観賞したり……。

とにもかくにも私たちは、よく歩き、よく食べ、よく笑い……そして時にはケンカもしながら、ずんずん進んでいきましたよ。



・写真左。モネの絵を観賞する、カオルン。自然光の差し込む空間に展示され、ジヴェルニーの「水の庭」を散歩しているような気分に。

・写真中央。
パリ6区にある市民の憩いの場。リュクサンブル公園。美しい庭園とともにボーズする私。

・サン・ジエルマン・デ・プレの路地で出会った店。以前から欲しかった封蠟(シーリングワックス)。手紙の封筒や文書に封印を施すための蠟(シーリングワックス)をゲットしたカズちゃんと、店主のムッシュ。

そして私たち、オランジュリー後は、Place de la Concorde(コンコルド広場)まで行き、そこからまたメトロに乗って、モンパルナスまで戻りましたよ。時刻はすでに午後の4時になろうとしていましたけど、ワクワクは続きました。今度はそこからSNCF(国鉄)に乗り、2~30分ほどかけて、Versaille-Chantier(ヴェルサイユ・シャンティエ)へ行ったものでした。

皆さんも、もうおわかりでしょう。そこで下車すれば、ヴェルサイユ宮殿へ行くしかありません。私たちは地元のムッシューやマダムに道を聞きながら、てくてく20分ほど歩いて、Chateau(シャトー。お城)へ行きましたっけ。

閉館が夕方の6時でしたから、今から宮殿に入る人もあまりいませんでした。もっとも、もともと空いている時間帯を目掛けていったわけではありませんから、ここまで夕方のヴェルサイユが空いているとも思っていませんでした。Navigo(ナヴィゴ・パス)とミュージアムパスがあったからこそ、もったいない感もあまりなく、気軽に来れたのが運のツキでした。

・・・というわけで私たちは、ヴェルサイユをまるで貸し切り状態みたいにスルスル進みました。閉館6時近くになり、「もう終わりですよ、皆さん」と係りの人に声をかけられるまで、館内にいましたっけ。

そしてお城の外の壮大なスケールの庭の方は、まだまだゆっくりできそうだというので、今度はそちらの方を堪能したというわけでした。

写真左

ヴェルサイユ宮殿、豪華絢爛、鏡の間のカオルン。まるで貸し切り状態のよう。



ヴェルサイユ宮殿。
謎の4人組。



ヴェルサイユ館内の閉館は午後6時まででも、館の外は庭を含めて夜まで開いている。



ヴェルサイユ後は、モンパルナスに戻り、MONOPRIXへ。
(※モノプリ。フランスのスーパー)
家飲み会のあれこれを買って、ホテルカクタスに戻る。

9月27日。(金)

さて、今日は朝から、私たちはメトロを乗り継いで、Bir Hakeim(ビル アケム)まで行きました。朝のお散歩です。白鳥の小径を歩いて、ビル アケム橋のところまで来ると、エッフェル塔とジャンヌダルク像の両方が見られて、ハッピー。私たちは橋の上で、くるくる回ったり、カシャカシャ写真を撮ったりして過ごしましたよ。



そして私たち、お昼にカクタスホテルまで戻りました。

午後は楽器を持って、再びノートルダム近くのシズさんの美容室を訪れました。一昨日は、カオルンの従姉妹のミサさんが、私たちをナヴィして練り歩き演奏に同行してくれたけれど、今日はシズさんがナヴィしてくれることになっていました。

シズさんは一昨日と同じように、また隣のブラッスリーからビールをオーダーして持ってきてくれました。

「さあ、るあんの皆さん。今日も元気に街に繰り出しましょう！」

そして「るあんの音楽隊」は、杯を交わすや否や、シズさんを先頭にパリの街中を歩き始めたというわけでした。

・・・いやあ、それにしても、シズさんは歩くのがものすごく早かったです。ルソーやユゴーが眠るという、Panteon(パンテオン)を高速ですっ飛ばし、雨がパラパラ降っても一度も後ろを振り向くこともなく・・・。

実を言えば、小学校の下校時間に合わせ、通学路のカフェの前で演奏することになっていたから、シズさんは早足になっていたのでした。

そして・・・

午後3時を過ぎたころ、私たちは定刻通りにカフェの前に佇み、先ほどまで息を切らして歩いていたこともすっかり忘れて、「おおシャンゼリゼ」を弾き始めました。

何もかも予定通りです。そのうちに遠くの方から、子どもたちの群れが、ぐんぐん私たちの方に近づいてきました。どうやらサクラになってくれたのは、小学校に通うシズさんの娘さんだということを演奏が終わってから知った私でしたが。とにかく小学生の群れは私たちの前で立ち止まると、私たちの音楽に合わせて、ウキウキ踊り始めたのでした。(つづく)

るあんの演奏隊と、パリの子どもたち。



次回予告その1. カフェで演奏するカオルン。



次回予告2.
路上演奏のるあん。